

網走市立網走西小学校 1 日防災学校実施報告

● 網走市立網走西小学校のコンセプト

「自らの的確な判断のもとで、防災・減災行動を取ることができる自立性と自然災害に対して、想定される災害イメージを持ち、具体的な対策を考えることができる情報活用力・創造性」を育む。

● 時間割

- 1 時限 南西沖地震紙芝居（全学年）
- 2 時限 新聞紙スリッパ製作（1 年）、南西沖地震紙芝居（2 年）
ダンボールベット製作体験（3 年）、救護活動体験（4 年）
防災〇×クイズ（5 年）、防災グッズ製作（6 年）
- 3・4 時限 避難訓練
- 昼休み 防災グッズ・防災関係車両展示
- 5 時限 防災〇×クイズ（1・5 年）、防災グッズ製作（2・6 年）
救護活動体験（3 年）、ダンボールベット製作体験（4 年）

〔連携・協力〕

北海道開発局、網走地方气象台、網走警察署、網走消防署、網走市役所、網走市社会福祉協議会、北海道防災教育アドバイザー三浦 浩

① 新聞紙スリッパ製作 	② 南西沖地震紙芝居 	③ ダンボールベット製作体験 
④ 防災関係車両展示 	⑤ 防災グッズ製作 	⑥ 防災グッズ製作 

学習指導案

日 時
児 童
指導者

平成30年8月28日(火) 2校時
1学年 27名
西村舞(1担)、緑川登志子(担外)、折笠道江(支援員)

1. 単元名(題材名)

しんぶんしで、じぶんのみをまもろう

サポート

網走地方気象台職員

※場所は、1年教室

2. 本時の目標

○自分の身を守るため、スリッパづくりを行うことができる。

3. 本時の展開

子どもの活動・意識	教師のかかわり・評価
①本時の流れを知る。 ②自然災害について知る。 天気について、どんなことを知っているかな？ 大雨 強風 地震 地震が起きたとき、何をする？ 机の下に隠れる 避難する その中で足元はどうかな？ 割れたガラスなどがあつて、危ない 大きな石や建物の破片が落ちている 課題 自然災害に備えて、足を守る新聞紙スリッパの作り方を知ろう！ ③新聞紙スリッパを作る。 ・班隊形になる。 ④③で作った新聞紙スリッパをより頑丈にする作り方を知る。 ⑤新聞紙スリッパを履いて歩いてみる。 ⑥課題を振り返り、学習をまとめる。 まとめ 身近な新聞紙を使って、身を守るためのスリッパを作ることができる。 ⑦振り返りをする。 ・本時の学習でわかったことや初めて知ったことなど、感想を発表する。	・担任から説明とサポートの方を紹介する。 ・天気の話から、災害時の話につなげていく。 ・新聞紙スリッパが役立つ場面に気づかせる。 ・新聞紙スリッパ作りのサポートを行う。 ・担任以外の作業サポート(2～3名) ・活動を振り返り、学習したことや感謝の気持ちを伝える。

学習指導案

日 時 平成30年8月28日(火) 2校時

児 童 2学年 31名

指導者 岡村英治(2担)、川村香(OR)、浦谷真美(支援員)

1. 単元名(題材名)

○「つなみ」について学ぼう

※場所は、2年教室

ゲストティーチャー
三浦 浩 さん

2. 本時の目標

○三浦さんの物語を見聞きしながら、津波やそれに備える心構えに関心をもつ。

3. 本時の展開(1/1)

子どもの活動・意識	教師のかかわり・評価
○担当教諭から本時の流れの説明とゲストティーチャーの紹介をする ○物語を見聞きする 「つなみどうぶつものがたり」を知ろう ・物語の途中で子どもたちが話し合いをしたり、発表したりする つなみがおこったときの大切なことについて学んだね！ ○感謝の気持ちを伝える	・説明とゲストティーチャー紹介 (三浦 浩さん) ・三浦さんのお話 ・ペア交流や班交流がスムーズになるように声かけをする ・時間があれば、感想や質問コーナーを設ける ・感謝の気持ちを伝える指導をする

学習指導案

日 時 平成30年8月28日(火)

2校時(3年生)・5校時(4年生)

児 童 3年24名 4年27名

指導者 3年生…米山琴美(3担)、小野垣真陽(OR)、鍋城征爾(担外)、舩瀬千夏(学習支援員)

4年生…大高光恵(4担)、馬淵寿江(OR)、菊池晃(担外)、矢尾恵(支援員)

1. 単元名(題材名)

「だんボール活用しよう」

※場所は、体育館

ゲストティーチャー

網走市総務防災課 石井参事

2. 本時の目標

○災害時に身の周りにあるもので、
より快適にかつ安全に眠る方法を知る。

※準備するもの

総務防災課 □段ボールベッド 10台

(予備・展示用含む)

□ブルーシート4枚(3.6m×5.4m)

□毛布 30枚、 □避難所写真 数点

学校

□プロジェクター(PC)、マイク

3. 本時の展開(1/1)

	学習活動	教師の関わり・留意点
導 入	・あいさつ ゲストティーチャーを知る。 「災害が起きて住む場所が壊れ、避難所で生活することになりました。どうやって眠りますか。」 寝袋で床に寝る 毛布で床に寝る まずは、床に寝てみよう！ 床に寝ると寒いね。どうすればいいかな？ 段ボールベッドを作って、より快適に眠る方法を確認しよう	・本時の流れとゲストティーチャー網走市防災課の石井さんを紹介する。 ・実際に、体育館の床にブルーシートを敷き、寝かせる。
展 開	4つのグループに分かれて、段ボールベッドを組み立てる。 3年生・・・ 6人ずつ(24名) 4年生・・・ 6～7人ずつ(27名) 簡単に作れるね。	・グループ毎に協力して、実際に段ボールベッドを作る。 担当者 (1) ③米山 (4)大高 (2) ③小野垣 (4)馬淵 (3) ③鍋城 (4)菊池 (4) ③舩瀬 (4)矢尾
終 末	・完成した段ボールベッドに座ったり、寝たりしてみる。 じょうぶなんだね 床で寝るよりあたたかい 足音があまりしない ・ふり返りをする。感謝の言葉 段ボールベッドは、役に立つね！	・暖かさの違いや騒音の軽減などを実感させる。 避難所で生活することになったときに、実際に行動できるように想像させる。

学習指導案

日 時 平成30年8月29日(火) 2校時(4年生)・5校時(3年生)

児 童 4年27名 3年24名

指導者 4年生…大高光恵(4担)、馬淵寿江(OR)、菊池晃(担外)、矢尾恵(支援員)

3年生…米山琴美(3担)、小野垣真陽(OR)、鍋城征爾(担外)、船瀬千夏(学習支援員)

1. 単元名(題材名)

「救護活動を体験しよう」

※音楽室集合図工室・階段・廊下等使用
マット2枚・椅子5脚用意

ゲストティーチャー

網走市社会福祉協議会職員

山中主幹、松野さん、中野さん

2. 本時の目標

○障がい者や高齢者の非難所での困り感に気づき、自分、他人の命を守るためにできることを考える。

3. 本時の展開(1/1)

	学習活動	教師の関わりと留意点
導 入	- あいさつ ゲストティーチャーを知る。 - 災害には様々な種類があることを知る。 疑似体験をして、けがをした人や体が不自由な人がどんなことに困っているのかを考えよう。 - 疑似体験の注意事項(真剣に、勝手な行動をせず、災害を頭に思い浮かべる)を聞く。	【担任】本時の流れとゲストティーチャー社会福祉協議会の山中さん・松野さん、中野さんの紹介。 - 災害について - 疑似体験の注意事項 - 介助のしかた
展 開	- 基本的な介助方法の説明 - グループ内で2人1組になり、けがをしている人や体が不自由な人たちがどんなことに困っているのかをイメージしながら、疑似体験や安全な介助をする。 4年生・・・9人ずつ(27名) 3年生・・・8人ずつ(24名) 車椅子での移動はたいへんだ 目が見えなくて不安 シネをつけたら動きづらくなった	3グループに分かれ、それぞれの場所で疑似体験キットを使って、実際に体験させる。 【担当者】 ① 車椅子・・・音楽室・廊下 (山中・④大高・矢尾) (山中・③米山・鍋城) ② 高齢者体験・・・図工室 (松野 ④馬淵) (松野 ③小野垣) ③ 視覚障がい体験・・・ふれあい (中野 ④菊池) (中野 ③船瀬)
終 末	- 音楽室に戻り、まとめをする。 - 自分の命を守る(自助) - 助け合いで救える命も増える - 日頃の準備や学びが、災害時に役立つ。 - 共同生活となる避難所での、障がいの理解の大切さ - あいさつをする。	

学習指導案

日 時 平成30年8月28日(火) 2校時

児 童 5学年 18名

指導者 黒瀧一陽(5担)、尾上勇雄(OR)

1. 単元名(題材名)

防災〇×クイズをつくろう

※場所は、5年生教室
(5校時は1年教室)

ゲストティーチャー
網走地方気象台

2. 本時の目標

災害から身を守る方法について、これまで収集した情報をもとに発表しあい、考えを深めることができる。

3. 本時の展開

子どもの活動・意識	教師のかかわり・評価
1. 本時の課題を知る。	・災害から身を守るための方法について発表し、ゲストティーチャーや地域の方からのアドバイスをいただいて、考えを深める時間であることを押さえる。
課題：災害から身を守るための方法を「防災〇×」クイズを通して考えを深めよう。	
2. グループごとに防災〇×クイズを発表する。	・他のグループの児童やゲストティーチャー、地域の方はクイズに参加する。
3. ゲストティーチャー、地域の方からアドバイスをもらう。	・予備知識が増えるようなアドバイスをしてもらえることが望ましい。
4. アドバイスをもとに、1年生への発表内容の修正や工夫を行う。	・ゲストティーチャーも話し合いに入ってもらいながら、発表内容の充実を図る。
5. ゲストティーチャーから防災についてのお話を聞く。	
6. 学習の振り返りをする。	

※5校時は、改善を図った内容で、1年生を対象に発表します。

学習指導案

日 時 平成30年8月28日(火) 2校時

児 童 6学年 25名

指導者 伊藤亜由美(6担)、大野マキ(担外)

1. 単元名(題材名)

防災グッズをつくろう

※場所は、図書室
※新聞紙は、1人1日分

ゲストティーチャー
網走地方気象台職員

2. 本時の目標

災害から身を守るための道具を参加者と一緒に協力してつくり、目的や活用法を交流しながら、2年生に伝える方法や内容を考えることができる。

3. 本時の展開

子どもの活動・意識	教師のかかわり・評価
1. 本時の課題を知る。	・ 本時の課題を提示する。 ・ 災害から身を守るための道具づくりと交流を主体的にすすめていくことを押さえる。
課題：災害から身を守るための道具を参加者と協力してつくり、2年生に伝える方法や内容を考える。	
2. ゲストティーチャーに挨拶をする	・ ゲストティーチャーを紹介する
3. ゲストティーチャーから防災についての説話を聞く。	
4. グループごとに防災グッズをつくる。 ①新聞紙で作るスリッパ ②ポリ袋で作るカップ ③ズボンで作るリュック	・ グループごとに保護者や地域の方に参加してもらう。 ・ 6年生が作製作業や説明を主体的にできるように支援する。
5. グッズをつくりながら、ゲストティーチャーや地域の方と交流する。	・ ゲストティーチャーや地域の人からのアドバイスをもらい、考えを深める。
6. 2年生との交流に向け、学習したことを伝える方法やその内容をグループごとに考える。	・ ゲストティーチャーにもさらにアドバイスをもらいながら、交流内容の充実を図る。
7. 学習の振り返りをする。	

※5校時は、改善を図った内容で、2年生を対象に、6年生が指導します。